

大岡川ニュース 第18号 令和3年2月10日発行

# Oh!Okagawa News

2021  
WINTER  
no.18



発行/NPO法人海の森・山の森事務局

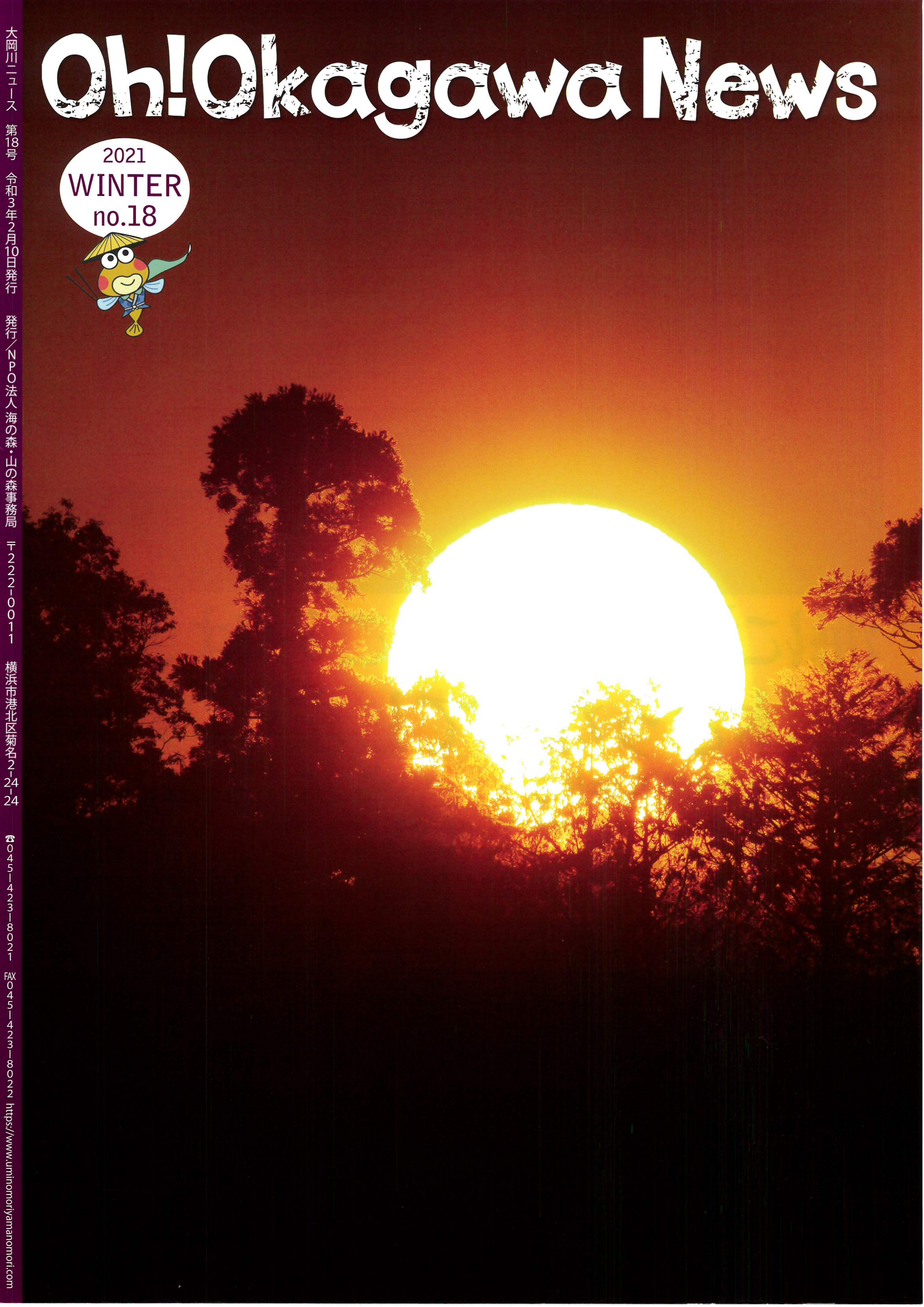
〒222-0011

横浜市港北区菊名2-24-24

☎045-423-8021

FAX 045-423-8022

<https://www.urimonoriyamanori.com>





神奈川県・茅ヶ崎沖の海底に散乱するプラスチック。これらは、茅ヶ崎に河口のある相模川から街中のプラスチックが海に流出し、海底に沈んだもの。(撮影:N・T)

緊急取材

# 海に沈んだプラスチックは、一体どうなってしまうのか？

## その1 化学的な見地から

### 高村岳樹教授(神奈川工科大学応用化学科)へのインタビュー

写真/道下勝基(K・M)、高村岳樹(T・T)、豊田直之(N・T) 文/豊田直之 取材協力/神奈川工科大学、城ヶ島ダイビングセンター

#### プラスチックを分解する細菌が必ずいるはずだ!

「プラスチックを分解する細菌はすでに研究され、陸上の土壌の中に存在していることは知られています。あくまでも私の推測なのですが、海の中にもプラスチックを分解する細菌がいるのではないかと考えているんですよ。」

こんな興味深いお話をしてくださったのは、神奈川工科大学の高村岳樹教授。高

村教授は、同大学の応用化学科で教授として教鞭をふるいながら、人間の生活に及ぼすプラスチックの影響を研究されている。

昨年の夏に、私たちが海岸のプラスチックを回収しているタイミングに合わせ、城ヶ島、茅ヶ崎、真鶴で、主に海中にあったプラスチックや、マイクロプラスチックの粒子を学生たちも交えて一緒に回

収。研究サンプルとして持ち帰っていただいた。残念なことに、この時回収したプラスチックからは、プラスチックを分解する細菌は発見できなかった。



ダイバーが海底から引き上げてきたプラスチックを小さく切り取り、研究サンプルとして専用容器に海水ごと入れて持ち帰る高村教授。(撮影:K・M)



コケのようなヌルヌルとしたものが表面に付着しているものに、プラスチックを分解する細菌が付着している可能性が考えられる。(撮影:K・M)

#### 城ヶ島の海底プラスチックから硫酸還元菌を発見!

夏に再び城ヶ島でサンプルを集めた。ちょうどNPOがボランティアダイバーを募り、海底のごみを回収するイベントに合わせていただいた。「俗にビニールと呼ばれるものの多くが塩化ビニル。海

昭和27年創業  

**共栄商事不動産**  
<http://www.kamioooka.jp>

【本店】横浜市港南区上大岡西1-19-4  
 Tel 045-842-0054/Fax 045-846-3701

【駅前支店】横浜市港南区上大岡西1-15-1 camio1F  
 Tel 045-842-0052/Fax 045-846-3702

【大久保支店】横浜市港南区大久保1-11-6  
 Tel 045-842-0058/Fax 045-842-2206


**秋山眼科医院**  
 akiyama eye clinic  
<http://www.hekaton-cheir.jp/akiyama-eyeclinic/>

横浜市中央区尾上町3-28 横浜国際ビル4階(受付) TEL:045-641-9361

眼科 【月~金】10:00~13:00 15:00~18:00 【土曜】10:00~13:00  
 耳鼻咽喉科 【火・水】10:00~13:00 15:00~18:00 【月・木・金】10:00~13:00

まごころ・信頼・サービスをお届けします。


**株式会社 横濱屋**

- 業務用酒類卸
- スーパーマーケット
- お酒スーパー

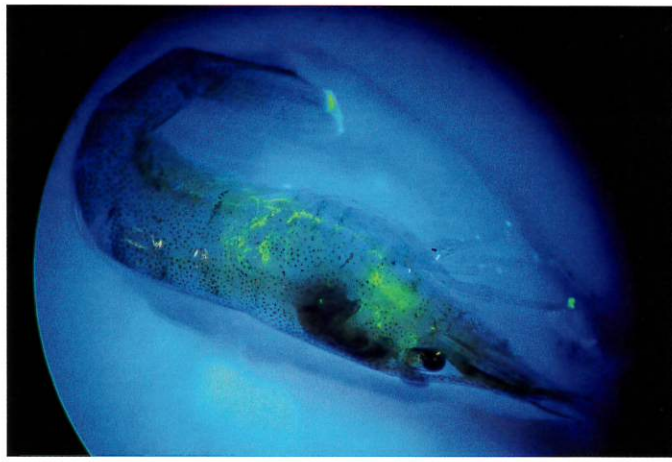
●本社 横浜市南区宮元町4-93 TEL 045-712-2670  
 ●業務用酒類卸(東神奈川営業所)  
 横浜市神奈川区千若町2-1 TEL 045-440-6440

底から引き上げた塩化ビニルの表面がヌルヌルして黒ずんでいるものが多かった。何か細菌が付着しているようなので培養して調べてみたところ、硫酸還元菌の存在が示唆されました。」

この聞き慣れない細菌は、プラスチックは分解しないが、酸素のないところで生活でき、しかも海水中の硫酸成分を取り込んで、硫化水素を吐き出す。硫化水素は、腐卵臭のする有毒ガス。つまり、海の環境を悪くする細菌だ。

「プラスチックを作るときに添加される補助剤と呼ばれる化学物質の中に、この硫酸があるのではないかな。もし、海底にこのプラスチックがごみとして存在すれば、この菌を引き寄せ、周囲のエリアに部分的な硫化水素のエリアを作り、環境を悪化させる。これがひどくなれば、海の生き物たちが棲めなくなってしまう恐れが考えられます。」

プラごみの環境への悪影響がまたひとつ増えたのだ。



ヌマエビの消化器から腸管につまるマイクロプラスチックの粒子 (撮影:T・T)

## エビ類がマイクロプラスチックを食べてしまう!

「あと最近脚光を浴びているマイクロプラスチックについても、うちの研究室ではこれから先に警戒すべき結果が出ています。ヌマエビを飼育して、水槽の中にマイクロプラスチックを入れておくとエビが食べてしまう。わかりやすくするために蛍光色に着色してあるのですが、顕微鏡で写真を撮ると腸管につまっている。糞として体外に出ますが、マイクロプラスチックに有害物質が付着したりしていれば、エビの体内にその有害物質が

蓄積していくことは容易に想像が付きまますね。」

高村教授および同研究室とは、当NPOも研究サンプルの採取提供など、今後も連携をとりながら、プラごみが海洋環境や海の生き物たちに与える影響なども調べ、それを広報し、プラごみのない海を取り戻す活動を展開していく。海底のプラごみがどんな悪影響を及ぼすのか?その研究はまだ始まったばかりだ。



環境汚染物質の生態影響や環境汚染物質の除去方法の構築などを主な研究テーマとしている神奈川工科大学応用化学科の高村岳樹教授。(撮影:N・T)

## 生きものみつけた! No.18

### キタキチョウ

写真と文 道下勝基



写真上/翅が黒く縁取られているので夏型とわかります。写真下/蜜を吸う本種、翅の裏面に縁取りはありません。

翅を広げた大きさが35~45mmほどの黄色いチョウ。モンシロチョウやモンキチョウに比べるとひとまわり小さいチョウです。

翅の表面が黒く縁取られた夏型とほぼ黄色くなる秋型があります。本州から南西諸島まで

の草原や、林縁に数多く生息し、市街地でも見かけられます。成虫のまま草かげで越冬し、春先には再び活動を開始して飛ぶようになるため、晩秋



まで長い期間見ることが出来ます。

いろいろな花を飛び回って蜜を吸い、夏には地面にたまった水を吸うこともあります。

撮影時(12月の半ばごろでも咲いていました)、磯子区・氷取沢市民の森「おおやと広場」に咲くキツネノマゴの間を飛ぶたくさんの本種を見ることができました。今から3月一杯までの間は、越冬のために氷取沢の草むらでひっそりと隠れている本種を見つけることができるかも知れません。

## 川でつながる SDGs 交流会 Vol.12

### 今回も ZOOM で開催!



ZOOMでのオンライン開催も3回目を迎え、だんだんとオンラインイベントとしても本交流会は安定が見られてきました。(撮影:画面キャプチャー 今井俊志 株式会社大川印刷)

昨年の7月開催以降から、本交流会もコロナ禍でのイベント開催ということで、ZOOMによるオンライン開催に切り替わりました。オンラインによるメリットは、遠方の方たちも参加できるようになったことでしょう。12回目の開催となった11月11日(水)も17時30分からオンラインでの開催。今回は3

人のメインスピーカーとして、山本宗男氏(株式会社横濱屋 代表取締役)、魚住佐恵氏(NPO法人ぷかぷか 施設長)、伊藤哲郎氏(三井住友建設株式会社)によって行われました。

山本氏からは、「創業明治22年の伝統と横浜という地域に密着した商売のあり方」について。魚住氏からは、

「ぷかぷかの今とこれから」について。伊藤氏からは、「本物感のある環境教育で未来の環境リーダーを育てる」について、それぞれお話しいただきました。それぞれの方たちの環境や地域とのつながり、またその取り組みなどについてわかりやすく解説いただく形の講演となりました。

また講演後は、交流会ということで、数人のチームに別れての交流会。途中シャッフルされて、メンバーが入れ替わったりもしました。今回は事前に3本の缶入りレモンサワーの注文をとって配達。3本の飲み比べなども余興として取り入れ、楽しく、そして有意義な交流会として終わることができました。

次回以降の予定は、1/27(水)、3/24(水)にそれぞれ17時30分よりオンラインによる開催となります。

『川でつながるSDGs交流会』についてのお問い合わせ  
株式会社大川印刷  
TEL045-441-2011 FAX045-441-2014  
E-mail magokoro@ohkawa-inc.co.jp

湘南太陽会グループは  
人々の心とからだの健康を総合的に支援します。

湘南太陽会

毎日診療しているクリニック  
**鳥居泌尿器科・内科**  
【金沢文庫】

駅前まで21時まで診療しているクリニック  
**ねぎし泌尿器科・内科**  
【根岸】

23時まで診療しているクリニック  
**相生23クリニック**  
【関内】

泌尿器科トラブルの総合カウンター  
**スカイビル腎・泌尿器科クリニック**  
【橋本】

**株式会社 太陽住建**  
Taiyo Jyuken

0120-460-025 横浜市港区井土ヶ谷下町 6-1  
リバーサイドマンション 1階

「大岡ハゼ丸」のステッカー提示で  
アイスウロン茶1杯サービスいたします!

**横濱 一品香**  
CHINESE KITCHEN

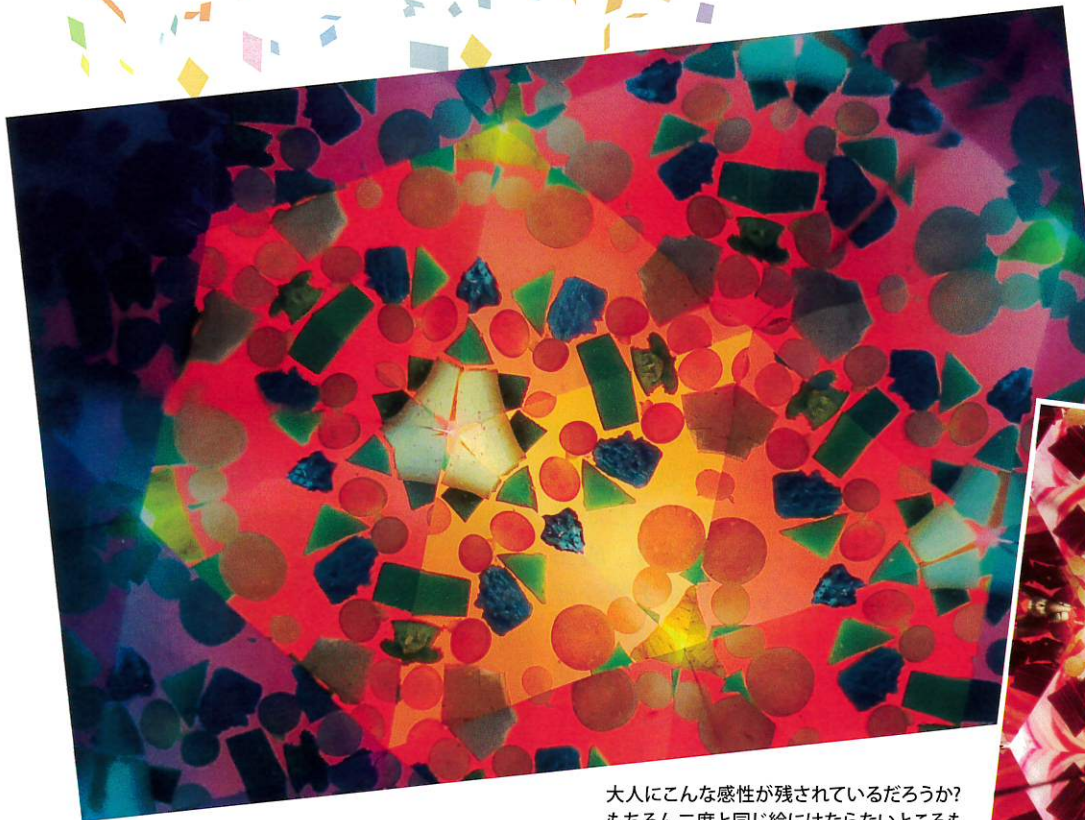
ジョイナス店・港南台店  
若葉台店・保土ヶ谷店  
ららぽーと店・上大岡店  
センター南店・町田店

たんめんと中国家庭料理

横濱の老舗

**勝烈庵**

# 子どもたちのアート心が全開! マイクロプラスチックで万華鏡作り!



大人にこんな感性が残されているだろうか?  
もちろん二度と同じ絵にはならないところも  
万華鏡アートの面白いところである。

## 採取した マイクロプラスチック を再利用

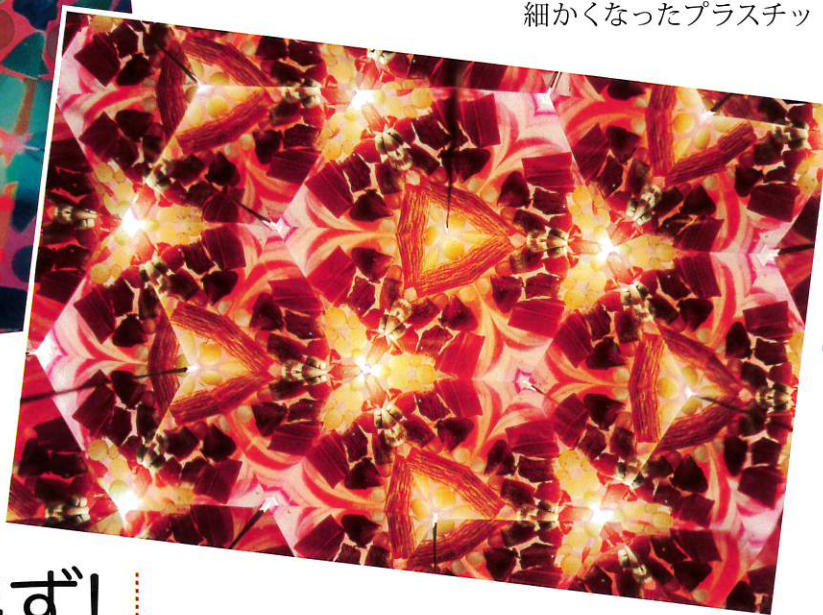
当NPOが小学校から依頼される出前授業のテーマで最も多いのが「マイクロプラスチック」。2年ぐらい前からニュースや新聞など

を賑わせているワードだが、意外と実物を見たことのある人は少ない。当NPOの出前授業では可能な限り子どもたちを茅ヶ崎の海岸などの現場まで連れて行き、実際にマイクロプラスチック粒子を一緒になって回収している。

細くなったプラスチック

を回収している。回収するだけではなく、この粒子をさらに何かに再利用できないかを考えるのが授業のテーマだ。

その一つの例として子どもたちに提案しているのが、この粒子を使った万華鏡作り。赤、黄、青、緑、橙、白、など様々な色の粒子を入れると、まさにアートの世界が展開するのだ。



## いまひとつ元気出ず!



コロナ禍でのイベント運営は難しく、そもそも密や人混みを避けて参加を辞退される方も多く、なかなか開催そのものに厳しいものがあります。PGT大作戦も、日ノ出町・黄金町エリアでも井土ヶ谷エリアでも、参加可能なメンバーのみで開催しています。

マスク着用でのごみ拾いで、残念ながらいまひとつ覇気のない、盛り上がりがない印象です。

コロナ禍でごみも減ったような報道もありますが、実際には不織布のマスクがポイ捨てされているなど、

さらにごみは増えているような気がします。

- 日ノ出町・黄金町エリア  
11月14日(土)  
回収ごみ重量 60.82kg  
(うちタバコの吸殻 5,140本)
- 12月20日(日)  
回収ごみ重量 34.78kg  
(うちタバコの吸殻 6,850本)
- 1月16日(土)  
回収ごみ重量 30.25kg  
(うちタバコの吸殻 4,320本)
- 井土ヶ谷エリア  
11月7日(土)  
回収ごみ重量 2.503kg  
(うちタバコの吸殻 2,065本)

12月5日(土)  
雨天のため中止  
1月9日(土)  
回収ごみ重量 4.794kg  
(うちタバコの吸殻 3,420本)



写真左上/12月の日ノ出町・黄金町エリアは、サンタコスプレで開催しました。  
写真右下/それでも井土ヶ谷エリアは、26名参加でそれなりの盛り上がりでした。

## 毎年恒例! 茅ヶ崎沖 海底プラごみ回収を実施!



## 海底調査も 兼ねて実施!

茅ヶ崎沖にプラごみの堆積場所を発見したり、その堆積場所が台風の影響による相模川からの流出土砂で埋まってしまったなどの毎回センセーショナルな発見のある



写真左上/海底に落ちていたプラスチック製の大型ボード。重量もかなりあるのと、水の抵抗が大きく、海底からの引き上げはかなり難航した。  
写真右下/水深もあり、潮流も速いため、ベテランダイバーに限定しての海底調査となった。

潜水調査。イオン環境財団からの助成事業である。

2020年度は、12月12日に実施。茅ヶ崎沖の烏帽子岩から少し離れた海底の根(大きな岩盤エリア)を中心に海底調査およびプラごみの回収を行なった。あまりごみらしきものは回収できなかった。どうやらこの辺りは潮の流れが速く、軽いプラごみが流されて通過してしまうエリアであることがわかってきた。

もう一箇所潜水調査したエリアでは、かなりの沖合の海底なのにゴルフボールが20数個回収された。

この日の回収ごみ  
総重量……………20.24kg  
ビン・缶・金属……4.26kg  
プラスチック……15.60kg  
その他(ゴルフボール)  
……………0.38kg

**吉田興産グループ**  
横浜市中央区長者町9丁目175番地 TEL045-251-4545

総合建設業 **株式会社 キクシマ**  
www.kikushima.co.jp

注文住宅建築・集合住宅建築・教育施設建築・福祉施設建築・商業施設建築  
耐震補強工事・リフォーム・リノベーション・鉄骨製作工事

☎ 0120-96-6663 本社: 横浜市港南区港南台 4-39-7

**横濱 いせぶら パウンド**  
YOKOHAMA ISEBURA POUND

合名会社川本屋商店  
横浜市中央区伊勢佐木町 6-146 ☎045-261-7652



茅ヶ崎・サザンビーチでのマイクロプラスチック粒子の回収風景。

### 子どもたちの自由な発想がアートを生み出す

「カラフルにしてもいいし、似たような色だけで作ってみても面白いよ! 自分でこんなことしてみたら面白いかもって思ったら、どんどんやってみてください!」  
そんな簡単なアドバイスを与えるだけで、あつとい

う間に子どもたちのアート心に火がつく。

「できたよ!」と言う子の万華鏡を覗かせてもらうとビックリする。思わず声が出てしまうほど。

子どもたちの感性は豊かで、柔軟性に富む。こんなアート作品の名作があちらこちらで生まれるのなら、万華



夢中になって世界にたった一つの万華鏡を作る。

鏡アートコンテストをやってみよう。そんな新たなアイデアを子どもたちからもらったのだった。

## 理事長トヨダのThe Lord of the Everest 第9回 当事務所の電力のオフグリッド化大作戦 実践中!



廃棄物を廃棄せずに再生させるSDGsの考え方からも、倉庫の奥で眠っていた中古の太陽光パネルを使用した設備となった。

### 一昨年のキリマンジャロ登頂からの気づき...

一昨年の10月に、アフリカ大陸最高峰のキリマン



室内には蓄電池、チャージコントローラー、インバーターを設備。直流24Vを一般交流100Vに変換する。

ジャロ(5,895m)に登頂し、山頂の氷河が融解している事実を目の当たりにした。地球温暖化が原因で、しかも我が国ニッポンもその主犯格であることも知った。

温室効果ガスを大量に排出してしまう火力発電に頼りきりな我が国の電力事情に少しでも抵抗しようと、ヨコハマ

SDGsbizの助成金も申請して、太陽光発電による電力オフグリッド化に踏み切ったのだ。

### 電気エネルギーの自給自足と災害時対策スポットへ

オフグリッドとは、電力会社からの供給を断ち、電力を自給自足すること。具体的には、太陽光パネルで発電し、その電気を充電電池に溜める。発電できない夜間も、その充電電池からの供給でふつうに家電が使えるという設備となった。

またこの設備は、大きな災害で電源インフラが麻痺した場合でも発電を続け、携帯電話やノートパソコンぐらゐの電気は周囲の方たちにお裾分けが可能で災害対策スポットとなります。

釣りや湘南を愛するすべての人に

湘南 茅ヶ崎漁港

**らがよまれ**

ご予約・お問い合わせは  
0467-86-1157

## イソヒヨドリ〈磯鶇〉

【Blue Rock Thrush】スズメ目 ヒタキ科 23cm

写真と文 道下勝基

## 大岡川野鳥観察記 No.19



花びらも食べるのかと観察しましたが、しばらくすると離れてしまいました。

世界的には標高2000mから4000mの高山の岩場に生息する鳥と

して知られています。国内では名前に「磯」がつくように、もともとは岩場の多い海岸地帯の崖地に生息する鳥でした。近年、内陸の市街地にも入り込んで生息域を広げています。



静かに近寄ると、意外にもかなりの至近距離で撮影することができました。

す。メスは全体的に灰褐色をしています。

崖の上や枝など高いところにとまり「ピーチョチョピッピ」などと澄んだ大きな声でさえずります。

食性は雑食性。岩場にいる甲殻類からトカゲ、昆虫、植物の実などを食べます。

群れることはなく、単独もしくはペアで行動し、3月から6月にかけて、岩場の隙間に営巣し、子育てをします。

写真は、大岡川河口付近の日本丸メモリアルパークで撮影したオスです。

## B&G海洋クラブに登録されました!

登録されたことでいったい何ができるのか?

公益財団法人ブルーシー&グリーンランド財団(通称B&G財団)から当NPOの活

動が同財団の海洋クラブとして登録されました。名称はB&G海の森・山の森海洋クラブ。同財団より救命胴衣子ども用50着、大人用21着、子ども用マスク・スノーケル・マリンシューズ50セット、大人用16セットが貸与され、親子のスキندайビング教室開催が可能となりました。

子どもたちへのスキندайビング教室提供へ!

これらの資器材貸与を受け、今後、城ヶ島ダイビングセンターと協働で、海を知る、海に興味を持ってもらうためのスキندайビング教室を提供します。

親子で、または小学校の校外学習として、安全にスキندайビングを楽しみ、海の生き物たちと触れ合うことで、海を大切に思う気持ちを育て、その結果として海のプラゴミを撲滅していく活動につながります。



厳しい審査を通過。海洋センターに登録されました。

## 3月6日(土) ビジュアルコンサート開催!

来る3月6日(土)、横浜市泉区のテアトルフォンテにて、当NPO理事長豊田直之とシンセサイザーデュオのイノヤマランドとのビジュアルコンサート「水宇宙」が開催されます。

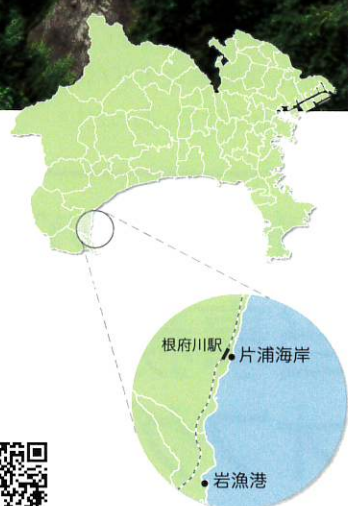
曲とリンクした水の様々な姿の映像が会場では大写しされ、シンセサイザーの曲におおいに癒されます。お問い合わせ テアトルフォンテ TEL045-805-4000。 <http://theatre-fonte.com/>





# プラゴミ バスターズ

三匹のおっさんが行く



神奈川県海岸435.09Kmを踏破する！

## その3. 岩漁港から根府川・片浦海岸まで

写真/田中篤(A・T 空撮・陸上)、道下勝基(K・M)、豊田直之(N・T) 文/豊田直之



YouTube チャンネル  
海の森山の森  
<https://www.youtube.com/channel/UCIV2ZEAvLgHQG-rpM9cweOg>  
チャンネル登録と「高く評価」よろしくお願いします！

難所続きの真鶴半島は何か越えたものの、今回の道のりもけっして安心できるものではなかった。しかしこのときは、ミッチー・ミチシタ氏が来れなかった代わりに、私の旧友で、地元・岩ダイビングセンターの長である田端哲明氏が頼れる助っ人として加わってくれたのである。

崖池を降りて海岸線に出る。海岸までの道のりが厳しいこともあって、なかなか

人が来れないこともあるが、相模湾に流出したプラごみが風と波とで大量に漂着。田端氏、ドローン・タナカ氏、私の3人で拾うが、あっという間に90ℓのごみ袋3つが満杯に。3人のサンタクロース状態だ。一度ごみをダイビングセンターまで持ち帰り、再びトライするも、ごみが多すぎてこの日は根府川までの道のりの4分の1しか進めなかった。

日を改めて、今度はいつ

もの三匹のおっさんメンバーで続きの根府川までの道のりを目指した。この辺りの崖地は、水が湧き出している箇所がいくつもあった。箱根からの水が湧き出しているのだ。根府川の駅は、かつての関東大震災の時に、大規模な地滑りが起きて、その時停車していた列車とともにホームがまるごと海になだれ落ちた歴史がある。この辺りは箱根ジオパークとも呼ばれ、厳しい崖地の

連続なのだ。

季節は初夏。まるで全身水をかぶったように汗まみれ。体力の消耗も激しく、途中、江の浦漁港で休憩もとりつつ、何とか根府川・片浦海岸まで到着した。

拾ったごみの量(2回分の合計)  
ビン・缶……………0.134kg  
ペットボトル…10.778kg  
プラごみ……………13.057kg  
総重量……………23.969kg



国道135号線脇からかなりの勾配の崖地を降りる。まるで獣道のような道を抜けると、目の前に海岸が広がった。(撮影:A・T)

**Radio Taxi**  
ラジオタクシー

**子育てタクシー**  
陣痛119番  
小さいお子さんとの外出も安心!  
研修を受けた安心ドライバーが担当  
チャイルドシート完備!!

**羽田空港**  
定額運行サービス  
西区・中区より  
普通車 **6,300円**  
(高速料金別途)

おかげさまで創業68周年

**アサヒタクシー株式会社**

アサヒタクシーは環境を守る企業経営に責任を持って取り組んでいます

本社・山手営業所  
**0120-39-9875**  
〒231-0851 横浜市中区山元町4-188番地  
<http://www.asहितaxi-hama.co.jp>

あなたに寄り添うクルマ、それがボルボ。



**THE NEW VOLVO XC40**



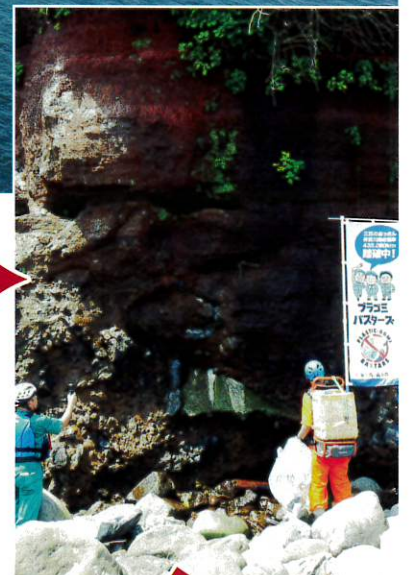
ボルボ・カー横浜西口  
横浜市西区楠町 12-10  
首都高速 横浜西口ランプそば  
TEL:045-321-0990  
ボルボ・カー横浜西口 



後日、続きを本来の三匹のおっさんで実施。最高の穏やかな晴天。(撮影:K・M)



ここも岩や石の間に挟まったプラスチックが多く、作業は難航した。(撮影:N・T)



根府川が近くなると崖地が続く。いたるところから水が滴る。(撮影:K・M)

# START!

この回は田端哲明氏(岩ダイビングセンター)、ドローン・タナカ氏、私の変成・三匹のおっさんでチャレンジ。(撮影:A・T)



岩周辺は漂着プラスチックのデパート。相模湾のごみがここに集まる。(撮影:A・T)



田端氏の背負う籠は田端氏のお手製。しかも海岸で回収したプラスチックテープを編んだもの。(撮影:A・T)



この日だけで総重量21.099kg。これでも全部取り切れていない。(撮影:A・T)



吹き溜りのようなところには、プラスチックの破片が一杯。(撮影:K・M)



普通にはなかなか来られない海岸。ごみが多すぎて、なかなか前に進めなかった。



全身汗でびしょびしょ。まるで水をかぶったよう。江の浦漁港で一休み。(撮影:K・M)

ここはペットボトルの漂着が多く、200本あまりを回収した。(撮影:K・M)

# GOAL!




しえあひるずヨコハマ  
SHARE HILLS YOKOHAMA  
居住空間と展望台のレンタルスペース

<https://www.facebook.com/sharehills/>

新車販売 車検 板金

## 加賀美自動車

南区永田南1-4-10  
045-741-7321  
info@kagami-car.com

私たちは地球に暮らす人々に『安全』と『安心』を環境面から提供しつづけます



私たちはこの使命を忘れることなく地球環境を見守ってきました。すでに人々は、限りある地球と共生することの大切さをしっかりと認識しています。いつの日か「環境破壊」や「地球温暖化」が過去の言葉となることを願って。これからも私たちは真摯に環境と向き合ってまいります。

私たちは地球のドクター

# OSUMI

株式会社 オオスミ

5th Anniversary

[www.o-smi.co.jp](http://www.o-smi.co.jp)

## 都市開発の基礎を支える 三好商会グループ

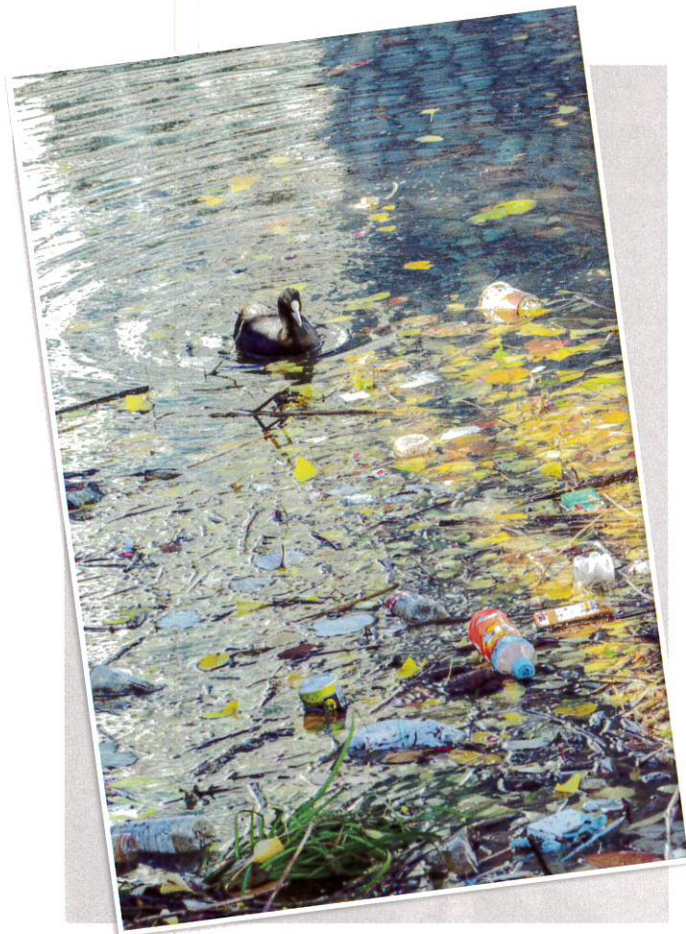
【商社】(株)三好商会 横浜市西区北幸 2-8-4 045-328-3440  
【運送】旭企業(株) 横浜市西区北幸 2-8-4 045-328-3520  
【環境】三好環境(株) 東京都港区新橋 2-10-5 03-6257-1047

天麩羅・肴

## 登良屋

横浜市中区吉田町2-3  
045-251-2271

# 道下勝基の Nature Essay Vol.3



ごみの浮く川面で餌を探しながら泳ぐオオバン。

横浜市西部を源流とし、横浜港に注ぐ帷子川(かたびらがわ)。かつては水質汚染がひどく、汚い川として有名でした。現在は透明度も増し、いろんな生き物たちが棲む川となっています。公園のひとつ高島水際線公園には、川に

沿って干潟や潮溜りが設置された生態護岸と、内陸側に潮入りの池が整備され、汽水域に生息する生き物たちを身近に感じられる場所となっています。しかし、川沿いの遊歩道を歩くと、せつかくの生態護岸が、ごみで覆い尽くされていると

いう現実も目の当たりにします。

その多くはプラスチック系のごみです。公園にはペットボトルやタバコの吸い殻、カップ麺の容器など放置されたものも多く、それらが川に落ちたり、上流から流れ着いたり、海からのごみも漂着していると思われる。

何よりも悲しいのは、そのごみの中を泳いだり歩き回ったりして餌を探す鳥を見ること。この日は、コサギ、アオサギ、カワウ、オオバンがごみの浮かぶ川面から魚や貝などを捕食していました。

愛護会や地域の小学生たちが清掃活動を定期的に行なっているようですが、残念なことにごみの無い日はありません。

一人一人のささやかな気遣いがごみをなくし、生き物たちにも人にも優しい環境を築いていくことに繋がると思っています。

## Close-up Supporter

お写真カメラマン 原 亜希子さん



最初はミーハーな気持ちで始めたごみ拾い。そして今は趣味のような存在になり、時間が合えば海岸沿いや街中のごみ拾いに参加しています。海の中やいろいろな海岸のごみ拾いの話を聞いたり、映像を観たりして、ますますごみ拾いに夢中になってきました。一人一人が取り組みれば、少しずつでも地球環境は良くなっていくと思います。

この新聞制作にご支援いただいている方々(順不同、敬称略)

五十嵐秀典(港南区)木野和江(東京都)村田俊哉(磯子区)中野正樹(泉区)東郷新(東京都)福永秀樹(港北区)藤原圭子(中区)海老名季晴(港南区)林宏一(金沢区)工藤誠一(鶴見区)杉原善朗(中区)片山かなみ(戸塚区)野島和美(東京都)豊田有希(港北区)柴垣正弘(中区)浅木克真(中区)飛鳥田一朗(中区)天野直樹(都筑区)荒木彦次(磯子区)菊嶋秀生(港南区)木津康博(西区)斎田順一(金沢区)地主道夫(戸塚区)清水良夫(中区)時久康信(港北区)長谷川章範(戸塚区)安室伸一(港南区)山本宗男(中区)吉永昌生(神奈川区)渡邊俊郎(西区)高橋淳(中区)太田篤胤(千葉県)塩谷あき子(東京都)百田仁(茨城県)藤井俊司(戸塚区)田中良篤(川崎市)桃井貴子(港南区)堀田彌生子(瀬谷区)長井文枝(港北区)狩野英(川崎市)水尻陽一(鶴見区)濱口紀子(金沢区)吉田節枝(中区)本所能子(港南区)金木伸浩(中区)藤田滋(港南区)早川光二(戸塚区)渋谷健(南区)伊藤元二(南区)能勢直征(新潟県)久野謙治(港南区)杉島和三郎(中区)磯村八恵子(東京都)福島俊彦(横須賀市)大庭一郎(都筑区)深田聖子(鎌倉市)大島重信(中区)浅見哲子(中区)藤崎大四郎(鎌倉市)根門喜美子(磯子区)井上珠江(保土ヶ谷区)井上美樹(保土ヶ谷区)杉山修子(神奈川区)小林直樹(中区)角野渉(中区)五十嵐洋志(港北区)末松孝一(平塚市)関水正和(大和市)高橋むつみ(神奈川区)榎内誠(川崎

市)松下廣(中区)大村貴志(保土ヶ谷区)汐崎郁代(神奈川区)馬場琢三(神奈川区)小島勇祐(中区)村山郁男(磯子区)高島進一(鎌倉市)岸和男(西区)小林英清(旭区)沖浦公隆(西区)西木賢一(中区)法橋頌高(港南区)林秀安(港南区)岩澤昌之(神奈川区)馬淵圭雄(南区)加藤卓郎(西区)北村美知子(中区)小川名剛彦(西区)野村豊(中区)鈴木紀子(神奈川区)藤間和美(茅ヶ崎市)松田純一(中区)松本淳(戸塚区)松尾順子(中区)横内峯雄(オーストラリア)森本義紀(東京都)原亜希子(戸塚区)渡部聡(中区)永井等(西区)岩室晶子(都筑区)内藤功(港南区)高野聡子(港北区)石田昌之(港南区)山口行治(東京都)梶尾三(中区)藤岡輝好(神奈川区)串間洋(港南区)齋藤直子(南区)田代哲也(中区)杉田まゆ(南区)田川恵子(南区)六反隆徳(東京都)北村保行(旭区)山鹿素雄(神奈川区)藤間敏之(磯子区)永倉六郎(港南区)外川一彦(金沢区)多田直之(川崎市)吉田尋行(泉区)前田理司(金沢区)島山忠昭(川口市)遠間ひで子(日野市)中島ちなみ(中区)岸和男(西区)西山久(鶴見区)石橋康弘(鎌倉市)西井篤(保土ヶ谷区)是石裕介(青葉区)池田孝(大和市)鈴木佐和子(南区)長井千文(ハワイ)平手貴之(南区)出口剛(旭区)長谷川由美(茅ヶ崎市)水島綾子(南区)建部昌臣(鎌倉市)松村俊幸(鶴見区)熊田昌秀(川崎市)石井宏(フランス)吉岡由紀子(成田市)久村真弘(東京都)佐藤桂(藤沢市)横道浩一(東京都)田辺恵子(中区)長澤征次(鶴見区)森野秀樹(南区)高田浩司(東京都)三橋憲行(東京都)石川義明

(戸塚区)鶴田千恵(熊本県)宮代拓充(南区)黒川松男(泉区)岡原重成(兵庫)生利悦造(大阪府)井筒昭(東京都)真壁崇(川崎市)佐藤敏子(港北区)小坂研治(港北区)小坂亨子(港北区)柿澤寛(中区)早川弘子(戸塚区)市田宏志(千葉県)鶴若富夫(中区)藤原園子(藤沢市)豊田和子(港北区)内山栄一(愛甲郡)加藤哲(港南区)美野恵津子(東京都)新村浩子(中区)豊田直之(港北区)大平愛子(埼玉県)井筒和子(東京都)井筒廣之(兵庫県)道下勝基(神奈川区)伏見靖(港北区)橋本良三(金沢区)磯貝高弘(逗子市)小玉英子(秋田県)田中篤(南区)岩崎男(港北区)聖光学院中学校・高等学校、ウミウシハンターズ、珠や潜水、有限会社登良屋、株式会社加賀美自動車、秋山眼科医、株式会社横濱屋、株式会社勝烈庵、有限会社共栄商事不動産、株式会社こくらす、吉田興産株式会社、医療法人社団 湘南太陽会、アサヒタクシー株式会社、株式会社ワイズカーセールス、医療法人秀晃会 馬車道レディスクリニック、株式会社大川印刷、株式会社一品香、三好商会グループ、株式会社太陽住建、株式会社オオスミ、株式会社キクシマ、合名会社川本屋商店、ちがさき丸、有限会社ティエムオフィス、公益財団法人イオン環境財団、一般社団法人コンサベーション・アライアンス・ジャパン、公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団、公益財団法人アイネット地域振興財団、神奈川県、よこはま夢ファン、桂川・相模川流域協議会、横浜ロータリークラブ、ヨコハマSDGsデザインセンター

## The Story of Cover (表紙の写真)

元日の早朝、大岡川源流域の氷取沢(ひとりざわ)の

ある円海山(えんかいざん)山頂へ。この時期の日の出位置は、かなり南偏して、ここからだと水平線からではなく、円海山中腹の山の稜線からになります。

私含めて3人ほどしかいなかったのに、日の出時刻の6時50分が近づくにつれて人が増え、少なくとも300人はいたのではないのでしょうか。

初日の出は、稜線からまん丸のお陽さまが静かに、力強く昇ってきました。



世の中の不安を吹き飛ばすかのような力強さ。まるでアフリカのジャングルの日の出のようでした。撮影地:大岡川源流域・円海山山頂付近 2021年1月1日午前7時頃撮影 撮影データ: EOS5DMIII、EF500mm F4L ISII USM、EXTENDER EF2×II、1/8000秒、f32、WB:太陽光、ISO:200 撮影:豊田直之

## Information 事務局からのお知らせ

大岡川PGT大作戦は、毎月第一土曜日に井土ヶ谷エリア、第三土曜日に日ノ出町・黄金町エリアでコロナ対策をしながら実施しています。詳しくはお問い合わせください。よろしくお願いたします。



### 新聞サポーター & スポンサー募集

『Oh!Okagawa News(年4回、各回4,000部発行A3判オールカラー8ページ)』では、新聞サポーター(500円×4号=2,000円の寄付)を募集しています。サポーターの皆様には、氏名を掲載させていただき、『Oh!Okagawa News』を1年間毎月1部郵送いたします。また、広告スポンサーも募集中です。詳細については『NPO法人 海の森・山の森事務局』toyo-da@nifty.comまでお問い合わせください。

### 『よこはま夢ファン』NPOの活動を応援して、税金対策しませんか?

横浜市が運営する、寄付金から2,000円の手数料を除く全額が所得税控除となる『ふるさと納税』と同じ制度。寄附される際に「希望する団体」に当NPOの名を記載いただくと、当NPOは助成申請し、市の厳しい審査を受け、承認されるとその金額分の助成を受けられます。寄附された方は所得税控除、企業の場合は損金計上、そんなメリットのある応援をぜひお考えください。お問い合わせ先:当NPO、または横浜市市民局協働推進課(045-671-4734) 検索「よこはま夢ファン」

患者様お一人お一人に合わせた  
ストレスのない診療を心がけています。

産婦人科  
不妊専門

完全予約制

**馬車道レディスクリニック**

神奈川県横浜市中区相生町4-65-3 馬車道メディカルスクエア5F  
TEL 045-228-1680 FAX 045-228-1681 http://www.bashamichi-lc.com/  
JR・市営地下鉄線 関内駅より徒歩2~5分 みなとみらい線 馬車道駅より徒歩2分

IT'S ALL ABOUT GREEN PRINTING

環境印刷で明るく

環境印刷を通じて「つくる責任 つかう責任」を果たしていきます。

**大川印刷**  
OHKAWA PRINTING, SINCE 1881

http://www.ohkawa-inc.co.jp